

第7号

かみよんだより

令和7年10月24日発行

発行者 社会福祉法人

目黒区社会福祉事業団

目黒区立かみよん工房

目黒区上目黒4-1-26

TEL 03(3760)3059

●年末の大仕事！今年もいただきました！●

日頃より企業様から業務の一部をお預かりし、一つ一つ手から手へ、丁寧に作業を仕上げている企業部の方々ですが、本年も地元有名菓子製造業者様より「年賀贈答用ギフト」の請負作業一式をいただきました。本年も化粧箱の組み立てから飴の計量袋入れをはじめ、ヒモとじやのし掛け、梱包含め、箱詰めまで、なんと880個！！一つのギフトを仕上げるまでに「計る、入れる、閉じる、詰める」などの様々な力が必要で、一人でこなすには大変な労力ですが、当工房では様々な強みを持った活きの良い働き手が、力を合わせて指定日時を目指し、作業をおこないます。まじめに丁寧、が強みなり！



●使えます！めぐろデジタル商品券！●

「あら、現金しか使えないの？」というお声を受け、少しでもお客様の買いやすさにこたえようと、10月より取り扱いを開始しました。お手元のスマホでQRコードをかざし、金額を入れて完了！



「小銭をわざわざ出さなくてもいいので、パパッとすませて助かるわ」(40歳代・女性)

「現金をあまり持ち歩いていないから、ありがたいよね、もう一つ足そうかな」(50歳代・男性)

「簡単だから、色々買っちゃう」(20歳代・女性)

ご来店くださるお客様に大変喜ばれています
(利用期限は令和7年12月26日(金)まで)

●地域の中で「つながる」を考える●

日ごろの店頭でのお客様とのふれあいや、各販売先でのいつもの挨拶、ねぎらいの声、時に励ましなど、常に私たちは「様々な地域とのつながり」を感じながら工房生活を送ってきました。その中で以前より抱く「私たちから何か一歩ふみだせないか」という問い。今回はご縁あって「ある行動」にうつします。いつもの売り買いや挨拶の域を超えて。これからのかみよん工房に、ぜひご注目ください。



「まごころ
おすわけ」
をカタチにしたい
私たちです。

●令和7年度上半期 工房収支について●

4月から9月の収支は、対前年で収入は100.4%、支出は108%で推移しています。当工房3部門(食品・開発・企業)の安定した売り上げを築く力は本年も手堅さがありますが、最近の様々な物の値上げの影響により依然として支出増の状況となっています。引き続き数字をしっかりと意識しつつ、工房一丸となって後半戦に臨んでいきたいと思ひます。

目黒で作業の担い手をお探しの皆さま、

ぜひ上記へ一度ご相談ください。

ご相談例)・お歳暮ギフト(貼付、封入、梱包、発送一式等)、ノベルティ商品の包装作業等、新たな販売先のご相談、植栽作業、大手ネット通販の簡易作業等

みぶ
担当:壬生